

# ハローホスピタル

*Hello Hospital*

## 病院の理念

職員が働きたい、働いてよかった、患者さんがかかりたい、かかってよかった  
地域が在って欲しい、在るので安心といえる医療をおこなう

## トピックス

夏休み子ども医療体験のひとつ  
「聴診器体験」

- ・夏休み子ども医療体験 開催報告
- ・オランダのLIDZ協会視察団訪問報告
- ・リハビリテーション病院との連携強化  
に向けた検討会 開催報告
- ・救急症例検討会 開催報告
- ・地中海料理教室 開催報告
- ・リハビリテーション科「ねりそう運  
動くらぶ」お知らせ
- ・患者さんの声にお応えします



公益財団法人 東京都医療保健協会  
練馬総合病院  
<https://www.nerima-hosp.or.jp>





# 夏休み子ども医療体験を開催しました

練馬総合病院

広報・公益推進室 山崎 勝巳

2025年（令和7年）年8月7日（木）と21日（木）の2日間、練馬総合病院では、「夏休み子ども医療体験」を開催しました。小学校4年生から6年生までのお子さん約40名とその保護者の方々にご参加いただき、医療現場を体験しながら、楽しく学んでいただきました。



## オリエンテーション

まずは白衣に着替え、医療体験の心構えを確認しました。「今日は患者さんではなく、病院の職員の一員として体験に臨みましょう」という言葉に、子どもたちは少し緊張した面持ちで耳を傾けていました。



## 医療体験

体験は「診察」「検査」「処置」など、医師や看護師、検査技師などのスタッフが直接指導する形で進みました。心臓の音を聴診器で聞いたり、超音波検査を実施したり、縫合をしたりと、普段は患者さんの立場でしか触れることのない機器を実際に体験、目を輝かせながら真剣に取り組む姿が印象的でした。



聴診器診察



赤ちゃん抱っこ



腹腔鏡シミュレータ



AED



心臓マッサージ  
(医師によるデモンストレーション)



手術  
(糸結び)

## 院内見学ツアー

見学は「薬剤科」「検査科」「放射線科」「病棟ナースステーション」「ベビー室」などのバックヤードを見学し、それぞれの部署で実際の業務も体験しました。



放射線科(カテーテル室)



リハビリテーション科



検査科



薬剤科



## 子どもたちの感想

- ・ 本物の道具を使って体験したり、エコー写真を見れたりして楽しかったです。
- ・ 心臓マッサージ・AED体験はもしもの時にもやくにたちそうです。
- ・ 車いすやストレッチャー、まっばづえをついたり、リハビリのどうぐを使うのが楽しかった。
- ・ 自分が知らないびょういんの裏がわを見ることができてすごい楽しかったです。
- ・ 医りょうたいけんに参加して、まえよりもっと病院の先生になりたいなとおもいました。



## 保護者の方の感想

- ・ 親子共々貴重な体験をさせて頂きました。また、練馬総合病院がとても身近な存在に感じました。
- ・ 子どもに腹部エコーをしてもらったのは、忘れられない思い出となりました。
- ・ 院内見学ツアーでは、検査科や薬剤科、放射線科などの裏側が見られ、とても興味深かったです。
- ・ 実際の施設で実際の道具に触れ、現場の方のお話を聞けて、大変貴重な体験でした。
- ・ 皆さんとても明るく楽しく、何より優しく接して下さいましたが、とてもありがたく感じました。

## ご参加頂いた皆様、ありがとうございました

当院では、地域の皆様に医療を身近に感じていただく取り組みを今後も続けて参ります。来年度も夏休み期間に開催予定ですので、是非ご参加ください。

8月7日参加の皆様



参加証授与の様子

8月21日参加の皆様





# 練馬総合病院とリハビリテーション病院との 連携強化に向けた検討会 開催



地域連携室 栗原直人、神村敏紀

2025年(令和7年)6月18日(水)、「練馬総合病院と回復期リハビリテーション病院(以下、リハビリ病院)との連携強化に向けた検討会」を開催しました。急性期病院での治療後、早期にリハビリを開始し機能回復を図ることが重要です。本検討会は、急性期病院とリハビリ病院、各病院の機能を最大限に活かした連携を目的に、年に2回開催しています。今回、11ヶ所のリハビリ病院、1ヶ所の有床診療所より、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカー(以下、MSW)、総勢39名の方々にご参加いただきました。

第一部では、整形外科科長 島谷医師が大腿骨近位部骨折の現況について、2019年から2025年までの当院の手術症例を示し、80代、90代の高齢患者さんが多く、患者数も増加傾向にあること、日本整形外科学会の調査報告、手術後の出血リスク、二次骨折予防としての骨粗鬆症の管理などをわかりやすく解説しました。滞りなく転院を目指すためには、リハビリ病院との連携は欠かせません。

第二部では、急性硬膜下血腫患者の救急搬送、緊急手術後の患者さんについて検討しました。独居・身寄りなしのため、周囲の協力が得られにくく、早期の介入が必要な症例でした。脳外科の主治医から詳細な治療経過、担当MSWから退院にむけた入退院支援が報告されました。その後、各グループごとに参加型討議を実施しました。多職種の視点から退院困難事例への支援方法について活発な意見が交わされ、患者の希望を尊重し、個別に寄り添う支援の重要性を改めて認識致しました。

検討会終了後のアンケート結果は参加者の90%以上が「参考になった」と回答しました。今後も本検討会を継続的に開催し、連携強化に努めてまいります。今回ご参加・ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



## 救急症例検討会 開催

地域連携室 栗原直人、長谷川優衣

2025年(令和7年)8月29日(金)に「第22回練馬総合病院救急症例研究会(以下、救急症例研究会)」を開催しました。練馬消防署の救急救命士・消防団員の方々が27名、当院職員が38名参加しました。この研究会では、練馬消防署の救急車で当院へ搬送された患者様数名について検討をしています。救急要請を受けてからどのような判断・流れで当院へ搬送し、搬送後は当院でどのような治療を行い退院されたのか、救急救命士・当院職員がお互いに症例を振り返る機会となっています。

今回は脳卒中疑いで搬送された症例と、ショック状態で搬送された症例の2つを検討しました。脳卒中疑いで搬送された症例については、脳卒中S患者(重症な脳卒中患者)と救命救急士が判断し、脳卒中S対応可能な病院として当院を選定して搬送した症例でした。この判断が適切であったかどうか、脳外科の虎澤誠英医師と検討しました。また、ショック状態で搬送された症例についても、ショック状態と判断する指標について、内科の藤田愛子医師と検討しました。

開催後、救命救急士の方々から「搬送した症例について医師と検討する機会がないためとても良い機会になった」「今後の救急活動に活かせる内容で、非常に参考になった」との感想を頂きました。今後も救急症例についての検討を重ね、最適な救急医療を提供できるよう努めてまいります。



# オランダLIDZ協会視察団訪問

医療マネジメント室 室長 金内幸子

2025年(令和7年)6月26日(木)にオランダLIDZ協会(複数の病院から構成されているオランダ医療改善ネットワーク)の10名が、当院を訪問しました。LIDZ Japan Study Program 2025の目的は、研修、現場見学、文化体験を通して、日本における改善、特に医療分野において、理解を深め、オランダの医療現場で実践されている改善のレベルアップを図るというものです。



当院からは、今年30年目となるMQI(医療の質向上)活動について説明しました。

|                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 「練馬総合病院の経営の考え方とMQI活動」 | 名誉院長 飯田修平          |
| 「MQI活動紹介」             | MQI推進委員会 副委員長 金内幸子 |
| 「MQI活動成果事例」           | MQI推進委員会 委員 渡邊輝子   |
| 「質の向上と経営」             | 理事長・院長 柳川達生        |



その後、LEAN推進委員会委員長 JW HOEK氏より「オランダの医療界におけるLEANについて」をご講演いただきました。

各演者発表後には活発な質疑応答と意見交換が行われ、改善活動にする相互理解を深めました。オランダ医療者の当院訪問は2019年に続き、2回目となります。たいへん和やかな雰囲気の中で会は進行し、さらに友好関係を深める時間となりました。

## 新設『広報・公益推進室』のご紹介

広報・公益推進室 山崎 勝巳

2025年(令和7年)7月より、練馬総合病院に新たに「広報・公益推進室」が設置されました。当室は、病院のさまざまな活動を地域や院内にわかりやすく発信するとともに、公益的な取り組みを企画・推進する役割を担っています。すでに本誌1面で取り上げた「夏休み子ども医療体験」では、子どもたちが医療の現場を体験し、病院をより身近に感じていただく機会を提供しました。そのほかにも、病院ホームページのリニューアル検討、来年度に迎えるMQI30周年記念行事の企画準備、さらには練馬総合病院 旭丘診療所におけるLINE公式アカウント開設など、複数のプロジェクトを同時に進めています。これらの取り組みはすべて、地域のみなさまに「練馬総合病院がどんな活動をしているのか」「どのような思いで医療を届けているのか」をわかりやすくお伝えし、安心してご利用いただける環境を整えることを目的としています。

広報・公益推進室はまだ新しい部署ですが、「病院と地域をつなぐ架け橋」として、これからも幅広い活動に挑戦してまいります。どうぞご期待ください。





# 地中海料理教室 開催

## 地中海料理教室について



2025年(令和7年)7月8日(火)、糖尿病センター主催による地中海料理教室を開催しました。メニューは鯖の炊き込みご飯、地中海式キャベツサラダを実演しました。鯖の炊き込みご飯は、炊飯器で手軽に作れ、塩分ゼロの昆布出汁と鯖の旨味で、減塩でも満足のいく味わいに仕上げました。サラダは切らずに使えるカットキャベツにナッツとオリーブ油を合わせ、手軽で栄養満点に仕上げました。当日は、参加者同士の会話も弾み、「家でも作ってみたい」「簡単で美味しい」と好評でした。地中海式の食事は、日本の食材とも相性がよく、日々の食事に取り入れやすいのが魅力です。



鯖の炊き込みご飯



地中海式キャベツサラダ



次回は11月12日(水)開催予定。皆さまのご参加お待ちしております！

## 「ねいそう運動クラブ」始めました！

### 「ねりそう運動クラブ」について

リハビリテーション科では2025年度(令和7年度)のMQI活動で「ねりそう運動クラブ」を7月から実施しています。毎週水曜日に初級・中級のいずれかのクラスを開催しており、当院理学療法士が考案したメニューを提供しています。



初級は椅子に座ってできる運動を中心に、中級は立って行う運動やヨガマット上での運動などが追加されます。参加者からは、「思ったよりもきつかった」「いい運動になった」などの感想があがっています。また、複数回参加していただいた方には、当院管理栄養士が考案した食事に関するアドバイスも提供しています。



今後、参加していただいた方を対象に月に1回、体力測定の日も予定しているのご興味のある方は当院エレベーター前のパンフレットスタンド、ホームページなどからチラシをご覧ください！



# 患者さんの声にお応えします

## 患者満足向上委員会

■「患者さんの声」に寄せられたご意見から抜粋して掲載いたします。



Q.ベッドが固過ぎて、全く眠れません。

私は睡眠時無呼吸症で横にならないと眠れません。

その時左右の肩と腰骨が当たって、痛くてたまりません。

ベッドマットは交換のためだけではなく、心地良い眠りのためのもの。

考え方を全く変えていただきたいです。また近いうちに入院する予定があります。

A.ご不便をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

6月21日付で全ベッドのマットレスを新しいものに変更しています。

マットレスはやわらかい面、硬い面と両面で選べる形となりました。

今後は安心してお休みいただけると幸いです。



■患者さんから寄せられた感謝の言葉も掲載いたします。

●病院の先生はもちろんですが、看護師の皆さんの優しさ、精神的肉体的な大変さが、入院したことで身に沁みて分かりました。

看護師の皆さん、ご苦労が多いでしょうけど、これからも頑張ってください。

世の中に尊敬に値する仕事は少なくないけど、間違いなく

”看護師さんの仕事”は世の中になくてはならない”尊敬に値する仕事”です。

心から応援しています。(医師・看護師へのコメント)



今後も皆様のご意見を参考に、

より良い病院づくりを目指します



＜次号＞ Vol.138 2026年 1 月 発行

患者満足向上委員会・広報委員会では当院に対する

皆様からのご意見・ご質問などを“ご意見箱”や“E-mail”などでお待ちしております

ご意見箱設置場所  
連絡先

各階談話室、玄関入口総合案内

Tel : 03-5988-2200 (代表)

Fax : 03-5988-2250

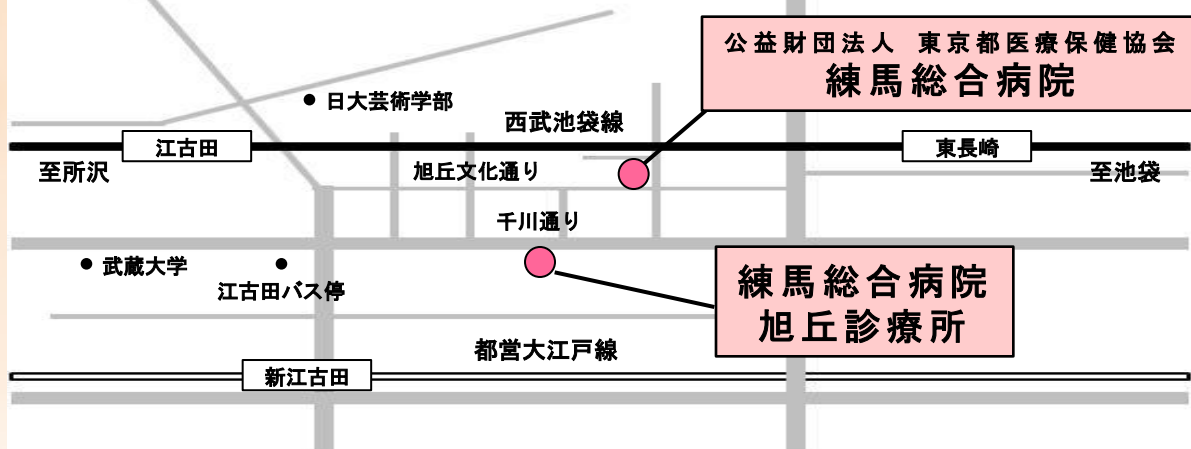
E-mail : [info@nerima-hosp.or.jp](mailto:info@nerima-hosp.or.jp)

<https://www.nerima-hosp.or.jp>





# 当院へのご案内



## ●練馬総合病院

〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1

・診療 問い合わせ 03-5988-2290  
・各種ドック、健診 03-5988-2246  
・その他問い合わせ 03-5988-2200 (代表)  
FAX 03-5988-2250

## ●旭丘診療所

〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-32-9  
第2MEマンション1階

・TEL 03-5982-8022  
・FAX 03-5982-8045

交通：電車 ■西武池袋線 . . . . 江古田駅南口 . . . . 徒歩7分  
. . . . 東長崎駅南口 . . . . 徒歩10分  
■地下鉄有楽町線 . . . . 小竹向原駅④出口 . . . . 徒歩15分  
■都営大江戸線 . . . . 新江古田駅 . . . . 徒歩10分

## 【診療科目】

### ●練馬総合病院

内科／外科／整形外科／脳外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科  
眼科／耳鼻咽喉科／循環器内科／リハビリテーション科／救急科  
健康医学センター(各種ドック・健診)／内視鏡センター／糖尿病センター  
結石センター／スポーツ医学センター／婦人科低侵襲センター  
脊椎脊髄センター

### ●旭丘診療所

小児科／漢方内科

## 【受付時間】

練馬総合病院 8:00～11:00 12:00～16:00  
旭丘診療所 8:30～11:30 13:00～16:00  
(第2・第4土曜日のみ 9:30～11:30)

## 【休診日】

土曜日／日曜日／祝日／年末年始

## 【救急受付】

24時間・当直医常時3名体制 (内科／外科系／産婦人科)

## 【面会】

面会可能時間 平日、土日祝 15:00～17:30  
面会時間 30分  
面会人数 3名まで(18歳以上の方)